

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』

連載第4回

これが普通の会社でやることか！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

<週刊現代2006年8月7日発売号>

「組合員手帳」に記された『内ゲバの命日』

--これが普通の会社でやることか--

「私の手もとにはJR東労組が組合員に配布する「組合員手帳」がある。06年版の最新のものだが、驚くべきことに、この手帳にはこういった過激派同士の「内ゲバ殺人」の被害者の命日が『偲ぶ日』として記されている。事件発生翌日、「松下勝（東労組の前身の東鉄労高崎地本委員長。88年「何者か」に襲われ死亡）を完全殲滅」という犯行声明を出したのは『革マル派』の対立セクト『中核派』だった。」「この松下氏殺害事件以外にも内ゲバ事件は続発した。

87年10月30日、東鉄労組合員・荒川一夫氏が、革労協（革命的労働者協会）に襲撃され3年後に死亡

89年2月8日、東鉄労水戸地方本部組織部長の加瀬勝弘氏が中核派に襲われ2日後に死亡

89年12月2日、JR総連総務部長・田中豊徳氏が革労協に襲撃されて死亡

91年5月1日、JR東労組水戸地方本部組織部長・湯原正宣氏が中核派に襲われ4年後に死亡

...手帳には、彼ら5人の命日が明記されている。」「内ゲバの死亡者を『殉職者』として崇めるJR東労組と、革マル派の合同葬儀まで開くJR東日本経営陣。彼らが運行する列車は果たして安全なのか。」

革マル派に肩入れする

JR東日本の経営陣は、目を覚ませ！